



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 東都水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江原 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当 (氏名) 田中 浩

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	27,425	0.4	97	48.3	259	2.7	224	19.8
30年3月期第1四半期	27,524	0.1	188	14.8	252	5.8	187	24.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 211百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 82百万円 ( 64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	56.51	
30年3月期第1四半期	47.18	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	30,224	15,038	49.8	3,781.09
30年3月期	28,696	15,512	54.1	3,900.06

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 15,038百万円 30年3月期 15,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				65.00	65.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.9	700	50.3	800	46.1	600	38.8	150.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	4,026,000 株	30年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	48,634 株	30年3月期	48,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	3,977,381 株	30年3月期1Q	3,977,576 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出増加と高水準の企業収益を背景に、設備投資は増加基調を維持し、また、雇用・所得環境の改善から個人消費は持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、海外経済情勢は米国トランプ政権が公約を実行に移し、貿易摩擦が本格化する等不透明感が広まっているものの、実体経済は先進国・新興国ともに内需に支えられて、堅調を維持しております。

水産物卸売業界におきましては、人口の減少、消費形態の変化等により魚食が減少する状況にあり、水産資源の減少や市場外流通の激化、さらに、海外の魚食普及による調達コストの上昇から、取扱数量が伸び悩む傾向が恒常化し、引き続き厳しい事業環境で推移致しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比べ、0.4%減少の27,425百万円となりました。貸倒引当金の戻入や人件費の減少があったものの、売上総利益の減少により、営業利益は前年同四半期連結累計期間と比べ48.3%減少の97百万円となりました。経常利益は、受取配当金及び為替差益の増加により、前年同四半期連結累計期間と比べ2.7%増加の259百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ19.8%増加の224百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

## ① 水産物卸売事業

売上高につきましては、取扱数量の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて2.6%増加の26,372百万円となりました。営業利益は人件費の減少及び貸倒引当金の戻入等により、前年同四半期連結累計期間と比べて199.7%増加の169百万円となりました。

## ② 冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、AERO TRADING社の売上高の減少及び東水フーズ㈱が平成30年3月31日をもって解散したこと等により、前年同四半期連結累計期間と比べて46.1%減少の900百万円となりました。営業損失は栃埼玉県魚市場の物流センター建設に伴う減価償却費の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて196百万円減少の116百万円となりました。

## ③ 不動産賃貸事業

売上高につきましては、賃貸物件の一部譲渡等により、前年同四半期連結累計期間と比べて3.8%減少の152百万円となりました。営業利益は売上総利益率の向上等により、前年同四半期連結累計期間と比べて11.9%増加の62百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,527百万円増加し、30,224百万円となりました。流動資産は1,529百万円増加し、18,015百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,633百万円増加したことによるものです。固定資産は1百万円減少し、12,209百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2,001百万円増加し、15,185百万円となりました。流動負債は220百万円減少し、7,904百万円となりました。主な要因は、短期借入金が206百万円、支払手形及び買掛金が155百万円増加したものの、その他に含まれております未払金が716百万円減少したことによるものです。固定負債は2,221百万円増加し、7,281百万円となりました。主な要因は、長期借入金が2,205百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ473百万円減少し、15,038百万円となりました。主な要因は、為替レートの変動により為替換算調整勘定が467百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から49.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月8日に発表しました数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,321	7,955
受取手形及び売掛金	6,781	6,790
商品及び製品	3,004	3,086
仕掛品	5	12
原材料及び貯蔵品	205	159
その他	959	708
貸倒引当金	△792	△696
流動資産合計	16,486	18,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,419	3,450
土地	3,206	3,195
その他(純額)	1,393	1,330
有形固定資産合計	8,019	7,975
無形固定資産		
投資その他の資産	1,582	1,473
投資その他の資産		
その他	2,825	2,962
貸倒引当金	△216	△202
投資その他の資産合計	2,608	2,759
固定資産合計	12,210	12,209
資産合計	28,696	30,224
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,798	2,954
短期借入金	3,504	3,711
未払法人税等	28	30
賞与引当金	78	144
その他	1,714	1,063
流動負債合計	8,124	7,904
固定負債		
長期借入金	2,041	4,246
退職給付に係る負債	1,367	1,355
株式給付引当金	22	20
資産除去債務	45	45
その他	1,583	1,612
固定負債合計	5,059	7,281
負債合計	13,184	15,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,048
利益剰余金	11,391	11,355
自己株式	△97	△97
株主資本合計	14,719	14,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	605	626
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△157	△625
退職給付に係る調整累計額	△15	△5
その他の包括利益累計額合計	792	356
純資産合計	15,512	15,038
負債純資産合計	28,696	30,224

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	27,524	27,425
売上原価	25,984	26,177
売上総利益	1,540	1,248
販売費及び一般管理費	1,351	1,150
営業利益	188	97
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	39	100
為替差益	15	56
その他	10	15
営業外収益合計	79	183
営業外費用		
支払利息	6	7
通貨スワップ評価損	4	8
その他	3	4
営業外費用合計	14	20
経常利益	252	259
税金等調整前四半期純利益	252	259
法人税、住民税及び事業税	66	38
法人税等調整額	△1	△3
法人税等合計	65	34
四半期純利益	187	224
親会社株主に帰属する四半期純利益	187	224

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	187	224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	21
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△135	△467
退職給付に係る調整額	13	9
その他の包括利益合計	△105	△436
四半期包括利益	82	△211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82	△211
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,695	1,670	158	27,524	—	27,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	347	28	430	(430)	—
計	25,750	2,018	186	27,954	(430)	27,524
セグメント利益	56	80	56	192	(4)	188

(注)1. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま  
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,372	900	152	27,425	—	27,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	217	20	267	(267)	—
計	26,401	1,117	173	27,693	(267)	27,425
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	169	△116	62	115	(18)	97

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△18百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。